

さなぎ達通信

平成 23 年 10 月号

VOL.27 

特定非営利活動法人 さなぎ達

email:sanagitachi@nifty.com

〒231-0026 横浜市中区寿町 3-9-8

TEL:045-228-1055

心肺蘇生せず



さなぎ達理事長

ポーラのクリニック院長

山中 修

もうダメだ。苦しくてしょうがない。座っていることもできない。トイレは、大便の時だけ歩いて行っている。動くとき苦しくてしょうがない。便は、1~2日に1回。少し固めで、息む時に辛いけど、このままでいいんだ。

水分は、摂っているよ。食事は、苦しくて摂れない。看護婦さんから栄養剤の話聞いたけど、出してくれるの？

ネブライザー（吸入器）はしてない。起きて作業するのが苦しいから、2~3日に1回やるかやらないか。これ（スピリーバ：気管支拡張薬）の方が、寝ていても吸えるから楽でいいや。

こんな状態だから風呂にも入れないし。入ったら即死だよ。背中とか、身体の乾燥は良くなってきているよ。

点滴後、調子は変わらない。水を飲むから、点滴はもういいよ。

~~~~~

今朝の10時15分、Hさんは亡くなった。死亡確認したのは、O荘別館前の救急車の中。すべり込みセーフ！！間に合った。

訪問看護師から、クリニックに電話がかかってきた。救急車が呼ばれたらしい。

「間に合えばいいが…」

外来で待っている患者さんに謝りながら中座。横断歩道を走って渡り、ちょうど救急車に搬入される場所だった。

「待って下さい！この人の主治医です。この人DNRです！！」のかけ声と共に救急隊員は一切の行為を停止した。（DNRとは、DO NOT RESUSCITATE！心肺蘇生行為をしないこと。）

瞳孔、呼吸、心音、電気製品を使わない方法で死亡を確認し、時間を宣言。隊員にお願いして住み慣

れた部屋に戻してもらった。顔は穏やか、これまでで一番苦痛のない顔だった。

昨年7月、JK医療センターからの紹介。

「治療方法が無いのなら、ポーラのクリニックへ行きたい。」

本人の希望で来院されて以来、月に2回の訪問診察。呼吸不全は増悪に増悪、在宅酸素療法も「苦しさは、真綿で絞められるようなものだ。」の状態だった。呼吸が苦しくて長い話もできない。だから、故郷や仕事や家族のことなど、一切知らない。

訪問の度に「悪いな…。医者として何もしてあげられない…。」と心の中で。ただ患者の訴えだけ傾聴していた。せいぜい冬の乾燥湿疹に塗り薬を処方したり、乾燥した部屋に、濡れバスタオルを吊り下げたりしただけ。

死亡診断書病名は、塵肺+肺気腫（COPD）による慢性呼吸不全。おそらく、工事現場や採掘現場で長く働き、タバコも吸っていたのだろう。

享年74歳。冒頭の発言は、最終訪問時の傾聴内容である。

彼に対して、プロとして唯一してあげられたのは「DNR」。でなければ、救命センター搬送、心臓マッサージ、気管挿管、中心静脈確保、警察搬送、屍体確認、発見者の事情聴取等、長くて辛い半日が過ぎないと、納棺してもらえない。これが都会の孤独死の現実。

寿では、こうして老人が部屋から去り、空いた部分に若者が流入してくる。毎日、生き物のように流れ動いている。

流入してくるのは、昭和の時代に集った人たちとは趣がずいぶん異なった人たち。

なぜ？？寿に？どうして寿でなければならぬ？

「それって変じゃん？？」

11年前に『見捨てられた孤独死』を見て、「日本って変！」と感じたことを思い出す。

社会から落ちこぼれた人たちは、寿に收容するだけでいいのか？

生活保護を供与すれば、それだけでいいのか？

寿で活動する「さなぎ達」の目線の先、街の変化への対応を迫られているような気がする。

## ゲストブック インターン生インタビュー

### 質問内容

- ① 寿町や路上生活者について興味のあること
- ② 実際に寿に来て感じたこと
- ③ 体験内容
- ④ 感想

7月下旬～9月の夏休み期間は、毎年たくさんの学生さんが、ボランティアやインターンシップ（自分の将来に関連のある就業体験を行える制度）で寿町を訪れます。

今年は5人のインターン生が、「さなぎの家」や「さなぎの食堂」、KMVPなど、幅広く「さなぎ達」の活動に参加しました。



宮内 菜帆さん（関東学院大学1年生）

- ① 1日の過ごし方について。
- ② イメージが変わった。「さなぎの家」の方達は、とても気さくに話しかけて下さったので、楽しかったです。
- ③ 【KMVP】実際に接してみて、体が不自由にも関わらず、自分で歩こうという意欲が強く、とてもびっくりしました。
- ④ これからも、たまには足を運んで皆さんと交流ができればいいなと思います。

神津 あずささん（横浜国立大学1年生）

- ① どのような生活をされているのか。
- ② ちょっと怖い町で、近隣の町と差別されているのでは…と思っていましたが、おじさん達は、やさしく親切で、10日間嫌な思いをすることはありませんでした。
- ③ 【さなぎの食堂】盛り付けや掃除の手伝いは、大変でしたが楽しかったです。食堂は、安くて栄養バランスも良く、食べ物を大切にしているところが素晴らしいと思います。
- ④ 同じ生活保護受給者でも、本当に色々な立場や考えの人がいるということに気付きました。このことを寿の外の人にも知ってもらうことが大切なのでは、と思いました。

阿部 壮一郎さん（関東学院大学3年生）

- ① 町の仕組みや成り立ち、自分たちに何ができるのか知りたかった。
- ② 路上に、人と車が多いことに驚きました。最初は戸惑ったけど、よく声をかけられました。
- ③ 【KMVP】体に不自由がある方に対して、単に手伝うのではなく、無理そうだったり、苦しそうになったりして、初めて手を貸すことの大切さを学びました。
- ④ 寿で生活している人も、他の町の人と変わらないように感じました。

番外編：ボランティアをしてくれた中学生からのお葉書

安田 叡理くん（中学2年生）

みなさん、お元気ですか？一か月前に、僕が伺った時も、みなさんはとても楽しそうに見えました。

今まで持っていた路上生活者の方に対するイメージが、大きく変わりました。とても優しい人ばかりだということが、今回の体験を通じて分かりました。

また、「さなぎの食堂」で洗い場の手伝いをさせて頂いた際に、一番印象的だったのは、食べに来た皆さんが、とてもおいしそうに食べていたことです。それは、満面の笑みというよりは、ひとつ目先のことに集中している時のような真剣な目つきを感じました。

いろいろなことがわかりました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。またいつか伺いたいと思います。



来る前と来た後で、  
寿町のイメージが変わった！  
という感想が多いのが印象的です。

百聞は一見に如かず。是非一度、寿町に足を運んでみて下さい。



## 今号の〇〇さん

このコーナー2人目のご紹介は、「さなぎの家」のボランティアさんです。おじさんへのメッセージもお寄せ下さい！

名前：松丸 正

年齢：53歳

住まい：簡易宿泊所

趣味：カラオケ

(演歌～ロック)

わたしにとって「さなぎの家」とは？

健康を損ね、ドクターストップで仕事ができなくなってから、生活保護を受給するようになりました。

住いの傍の「さなぎの家」で、利用する方々のために何か出来るのでは…と思い、毎日9:00～17:00の間でボランティアをすることにしました。生活のリズムが定まり、健康にも良いと思っています。

どなたにも気持ち良く利用して頂くため「おはよう」「こんにちは」「いらっしゃい」等の挨拶を忘れないよう心がけています。気持ち良い挨拶が返ってくると喜びを覚えます。

今後の希望：出来ることなら、寿の町を出てアパート暮らしをしたい。希望を持つことは、生きるために良いことだと思っています。



## 寿への入り口～さなぎの食堂との出会い2002～①



立ち並ぶドヤ、そして町のおっちゃんたち。当時、学生だった私は、知人の紹介で開業した

「さなぎの食堂」の年末ボランティアに参加しました。こんな町があるんだっていう発見、何もできない自分。“可哀想な人”とか、“助ける側”“助けられる側”とか、そんな風にはくれない何かを「さなぎ達」に出会い、知るようになりました。

何でこの人たちは、ここにいるんだろう？そんな疑問や、食堂と町の温かさが新鮮で、「木曜パトロール」にも顔を出すようになりました。

しかし、この頃は、寿町との出会いが、その後の進路にまで影響するとは思っていませんでした。(続)

「さなぎ達」と関わりの深い岡野さんが、どうして寿町に出会い、何を感じたかなどを綴った新シリーズです。今号から連続してお届けします。

岡野 慶光

学生時代に初めて寿町を訪れ、現在は「さなぎの食堂」で週4回、「Yokohama Hostel Village」(寿町にある宿泊施設)で週1回アルバイトとして勤務している。

## ご報告

6月に、「税制改正法」及び「改正NPO法」が成立しました。今回の法改正で、認定NPO法人になるための新たな認定要件が加わり、「さなぎ達」の取得申請が可能となりました。詳細は、改めてご報告させていただきます。

それ以前に、今、「さなぎ達」の財源は非常に厳しく、存続の危機にあります。今後とも、よろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

【認定NPO法人とは】組織運営及び事業活動が適正であること等の一定の要件を満たすNPO法人に対して、個人や法人から受ける寄附金について課税上有利になる等の恩典が受けられる団体として、国税庁が認定するもの。

※詳しくは、内閣府のNPOホームページをご覧ください。

(<https://www.NPO-homepage.go.jp/support/nintei.html>)

## データブック

|                   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   |
|-------------------|------|------|------|------|
| さなぎの家 利用者(人)      | 3520 | 3336 | 3441 | 3485 |
| 木曜パトロール 野宿者総数(人)※ | 250  | 240  | 218  | (休)  |
| 寿JUMP 参加者(人)      | 3    | 3    | 3    | 3    |
| KMVP 利用者(人)       | 9    | 8    | 10   | 9    |
| KMVP 活動件数(件)      | 36   | 30   | 24   | 29   |
| さなぎの食堂 仕出し弁当(食)   | 139  | 261  | 118  | (休)  |

※ 木曜パトロールは、4月～10月は第2、第4木曜日(2回実施)、11月～3月は毎週木曜日(4,5回実施)に行っています。



## ご支援・ご協力いただいた皆さま（5月1日～8月31日受取分）



ご入会・ご寄附・ボランティア頂き、ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

- ・個人でご寄附下さった方：142名
- ・ボランティア下さった方（定期）：17名（8月末現在）

カトリック二俣川教会、カトリック山手教会、カトリック菊名教会、横浜国際バプテスト教会、日本聖公会横浜教区、マリアの宣教者フランシスコ修道会、聖アンデレ教会、斉藤農場、(株)ファンケル、ファンケル発芽玄米(株)、やよい台クリニック、横浜インターナショナルスクール、慶應義塾大学、中部大学、横浜国立大学、横浜中区役所、寿町福祉プラザ、横浜市民活動支援センター、横浜社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会善意銀行、神奈川県遊技場協同組合、神奈川県福祉事業協会、元神奈川県会議員、このはな薬局、南天堂、キタムラ元町本店、横浜ボランティアセンター、(株)ローソン、ローソン尾上町3丁目店、ローソン馬車道店、不老町ケアプラザ、NPO 法人セカンドハーベストジャパン、お好み焼きころんぶす石川町店、(財)日本ダウン症協会、NPO 法人パブリックリソースセンター、NPO 法人アクションポート横浜、認定NPO 法人ワンダーポート、NPO 法人市民セクター横浜、NPO 法人積み木、ニュータウン第一町内会、イオン本牧店、ポーラのクリニック、コトラボ合同会社（順不同）



## 編集後記

日頃より「さなぎ達」をご支援下さり、誠にありがとうございます。天候不順が続きましたが、元気にお過ごしでしょうか？暑い夏もあっという間に過ぎ、今年も残りあと3カ月を切っています。「さなぎの家」は、春に改装工事を行った際、エアコンを新調できたおかげで、例年の夏より、涼しく快適な空間に利用者さん迎えることができました。ありがとうございました。寒い冬も、頑張って乗り切りましょう！

## ご協力お願いします！

「さなぎ達」の活動は、ご支援下さる皆さまに支えられて成立しています。厚かましいお願いですが、お知り合いの方々にも、お声をかけて頂ければ幸いです。

**物資のご寄附** お持込も大歓迎！募集物資は変動致します。保管場所に限りがあるため、事前にお問い合わせ下さい。

1. 衣類：男性用の秋・冬物、古着可◎ 震災以後、減少しています。
2. 生活用品：毛布の受付開始しました！歯ブラシ、カミソリ、固形石鹸、洗濯洗剤（粉）、フェイスタオル等
3. 食料品：米、野菜等 食堂では、お米を毎日30~40kg消費するので、大変助かります！

**活動資金のご寄附** 今号では、活動資金のご寄付とはらぺこ基金の郵便振替口座の振込用紙を同封しております。

口座名：特定非営利活動法人 さなぎ達

1. 銀行口座：三井住友銀行 横浜支店（普）6967937
2. 郵便振替口座 ※該当する口座へのお振込みをお願い致します。ご入会・ご継続の方は①会員口座へお振り込み下さい。
  - ① 会員口座 00200-2-69980
  - ② 寄付口座 00260-8-65127
  - ③ はらぺこ基金口座 00200-7-53701（※③のみ口座名が「さなぎの食堂」になります。）

**会員** 会員の有効期間は1年間となっております。ご確認をお願い致します。

1. 正会員：さなぎ達の趣旨に賛同し財政的に支える個人・団体  
期間：1年間、年会費：5000円（1口）、総会での議決権・さなぎ達通信の送付（年4回以上）・報告等の無料送付
2. サポーター：さなぎ達の運営を資金的に賛助する個人・団体  
期間：1年間、年会費1000円（1口）・さなぎ達通信の送付（年4回以上）

※ 今後、受領確認等のご連絡を、メールで受信可能な方は、メールアドレスをお知らせ頂きますようお願い申し上げます。

